



○ オーケストラ

④号で「絵画を鑑賞して想像した曲名を述べなさい。」という突飛な面接項目について紹介しました。そう多くはありませんが、私はときどき演奏会についてクラシックの鑑賞をすることがあります。4年前には文化庁から県教委を通じてお誘いがあり、中学校の体育館で京都フィルハーモニー室内合奏団の皆さんが演奏会を開いてくださいました。このときはステージでの演奏ではなく、体育館の床が会場でした。聴く方も同じフロアに座布団をしいて鑑賞しました。これは音の響きをお尻やおなかからも感じてほしいという意図からでした。

その意図は十分に体中で味わいました。近隣の小学生も参加していましたので、様々な趣向が盛りだくさんで楽しい演奏会となりました。最後に校歌を演奏していただき、生徒も一緒に合唱しました。多くの場合、ピアノの伴奏だけでいつも歌っているものをフルオーケストラで味わうのは初めてであり、そのときの私は涙腺が緩むのをじっと我慢していました。



当日の様子

「最近はかつての保護者や教え子と再会する機会がよくあります。」と、このたよりでときどき

紹介していますが、この前再会した教え子はオーケストラのヴァイオリン奏者でコンサートミストレスをしているそうです。その楽団は周南フィルハーモニー管弦楽団です。まだ結成して4年程度の新しい楽団ですが、この秋には7回目の定期演奏会をするそうです。光市と光市教育委員会も後援されていますので、堂々とここで紹介したいと思います。私も鑑賞に行ってみようと思いますが、皆さんもよろしければどうぞ。



さてその教え子ですが、中学生時代の所属部活動は吹奏(管弦)楽部ではなく美術部でした。「毎日毎日ヴァイオリン漬けなので部活動くらいは音楽とは関係のないものにしたかった。」とのこと。そういうことで当時の美術部顧問だった私にとってはかなり強く印象に残っている生徒の一人です。

自校自賛

本校の学生の中には高校時代に吹奏楽部で頑張ってきたり、太鼓の演奏にかかわったりしている人がいるようです。機会があったら何らかの方法で披露してほしいなと思っています。可能?